

## 第2節 白石構内の立会調査

### 1 教育学部附属山口中学校防球ネット新設工事に伴う立会調査

**調査地区** 白石構内

**調査期間** 平成12年12月6日

**調査面積** 約4.4m<sup>2</sup>

**調査結果** 教育学部附属山口中学校で防球ネットを新設することとなり、立会調査を実施した。工事は、直径約45cmの円形の範囲を東側5箇所では現地表下約3.5m、西側4箇所では現地表下約3mまで掘削するものであった。調査範囲が狭小であったことから、断面の確認は困難であった。また、埋土を確認したところ遺物は含まれていなかった。

今回の調査区のうち、東側については、昭和61年度に調査された污水管布設に伴う試掘調査第7・第8トレンチ<sup>1)</sup>で現地表下約40cm程度

で地山が検出されていることから、旧地形はやや高かったことが推測される。一方、西側では平成25年度に実施した武道場新営工事に伴う予備発掘調査の成果から北東－南西方向の谷が存在する可能性が高い。

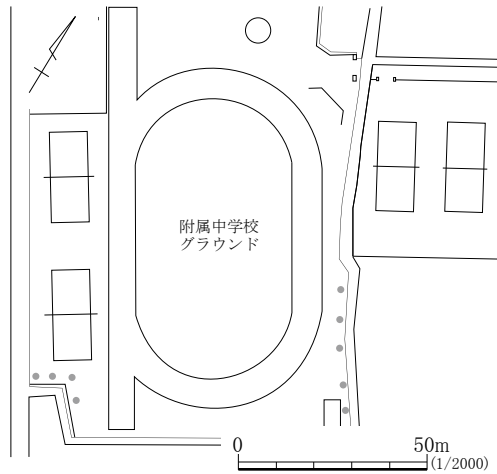


Fig.33 調査区位置図

[注]

- 1) 山口大学埋蔵文化財資料館「亀山構内教育学部山口附属学校排水管布設に伴う試掘調査」(『山口大学構内遺跡調査研究年報VI』、1987年)